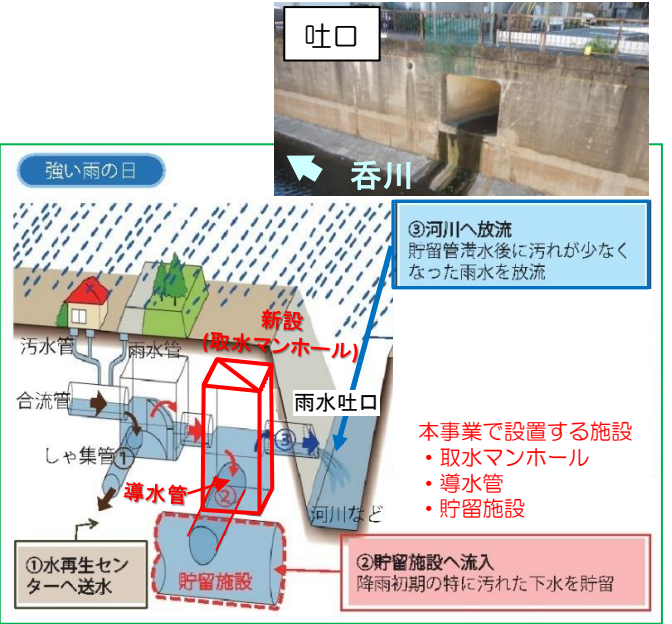


1.事業概要

- 事業の目的
合流式下水道の改善
雨天時に合流式下水道から河川や海などへ放流される汚濁負荷量を削減し、良好な水環境を創出するため、**降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設を整備。**
- 計画の概要
呑川流域中流部の吐口対策
合流管から分水され、河川へ放流していた降雨初期の下水を、新たに設置する取水マンホールから貯留施設へ導水し、河川放流量を軽減する。



2.計画施設

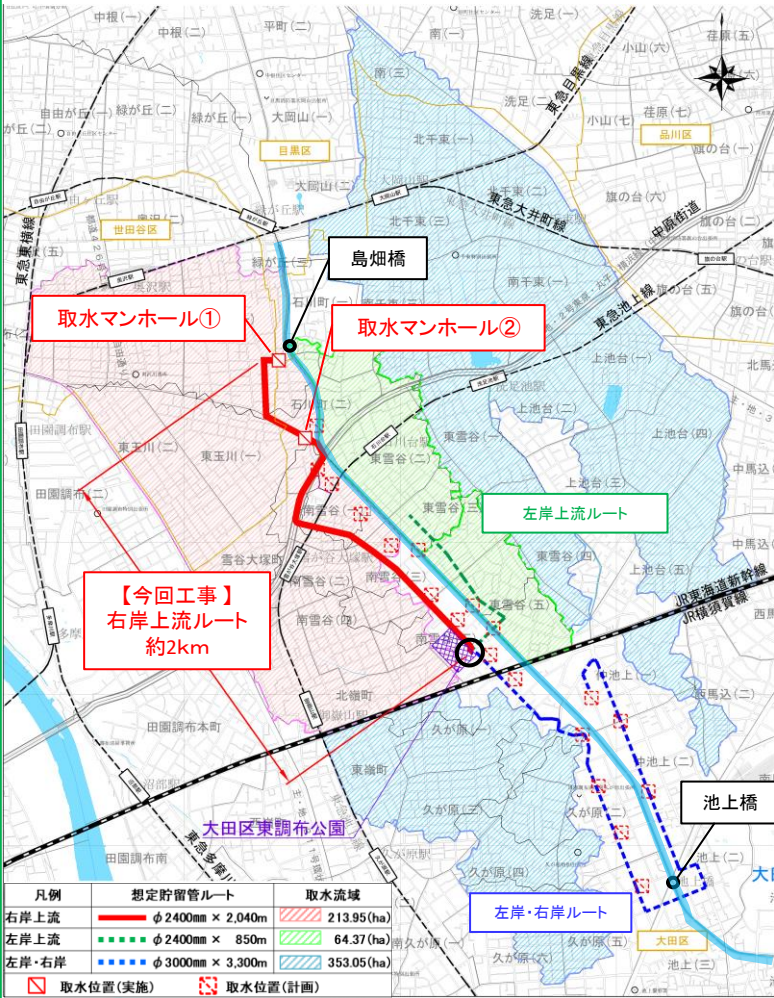
- 呑川流域中流部に接続されている吐口の流域約631haについて、降雨初期の下水を貯留する**容量約38,000m³の貯留管**を整備。
- 発進立坑（たて穴） **《施工中》**
大田区立東調布公園 旧屋外プール位置
- 貯留管
（右岸上流ルート） **《施工中》**
管径φ2400mm 延長L=2,040m
（左岸上流ルート） **《計画》**
管径φ2400mm 延長L= 850m
（左岸・右岸ルート） **《計画》**
管径φ3000mm 延長L=3,300m
- 取水施設 21箇所 **《今回工事2箇所施工》**
池上橋～島畑橋間の20の吐口を対象



3.事業スケジュール(予定)

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度～14年度頃	備考
呑川合流改善貯留施設整備	東調布公園内下水道工事	公園使用期間は令和14年度頃までを予定									
	立坑設置に伴う用地整備工事										完了 (工期R2.6.22～R3.10.29)
	立坑設置工事										施工中 (工期R4.3.4～R7.7.29)
	貯留管設置工事(右岸上流ルート)										施工中 (工期R5.9.26～R9.7.7)
	貯留管設置工事(左岸上流ルート)										
	貯留管設置工事(左岸・右岸ルート)										各工事の施工順序、期間については、今後詳細検討を行い決定します
取水工事											各取水箇所にて順次施工

4.貯留施設計画図



5.立坑設置工事・貯留管設置工事(右岸上流ルート) 概要

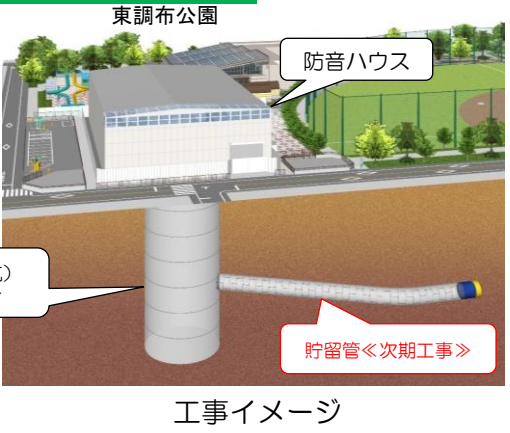
- 内容
貯留管を整備するためのたて穴（立坑）を東調布公園内の作業用地に設置する。
立坑工事完了後、立坑からシールド工法によりトンネルを掘削し、**右岸上流ルート**の貯留管及び取水マンホールを整備する。
- 立坑設置工事工期
令和4年3月4日～令和7年7月29日
- 貯留管設置工事工期
令和5年9月26日～令和9年7月7日
- 主な工事概要
立坑（ニューマチックケーソン工法）⇒ 内径12m、外径15m、深さ約35m
貯留管（泥水式シールド工法）⇒ 内径2.4m 延長約2km
取水施設 2箇所 ⇒ 取水マンホール① 内径2.4m、深さ約22m
取水マンホール② 内径1.4m、深さ約15m

施工イメージ

※赤字表記箇所が、貯留管設置工事での施工予定施設
東調布公園鳥瞰図

※貯留管工事の期間は、防音ハウスの高さを立坑設置工事の時よりも下げる予定です。

※貯留管（左岸上流、左岸・右岸）の詳細なルートは、今後詳細検討を行い決定します。



工事イメージ